

1 新しい生殖技術とは何か

1.1 新しい生殖技術とは何か

◆新しい生殖技術(New Reproductive Technologies)

特に「不妊治療」に関わるものを、生殖補助医療(Assisted Reproductive Technologies)=ARTと呼ぶ。
(主として体外受精・顕微授精を利用するもの)

1.1.1 薬品(ホルモン薬)による生殖過程の操作

- 排卵誘発剤
- 陣痛促進剤
- 着床を促す投薬(体外受精—胚移植などの場合)

★排卵誘発剤の副作用については、

☞ フィンレージの会『新・レポート不妊——不妊治療の実態と生殖技術についての意識調査報告』2000年

1.1.2 授精・妊娠そのものの人工化

- 人工授精 — AIH(Artificial Insemination with Husband's semen)
— AID(Donor's)=DI(Donor Insemination)
- 体外受精—胚移植(IVF・ET[In Vitro Fertilization and Embryo Transfer])
～類似の技術として、GIFT法(受精前の生殖細胞を卵管内に移植。厳密には体内受精)などがある。

◆主な不妊治療の費用

人工授精	5000～3万円	
体外受精	25万～50万円以上	
顕微授精	30万～50万円以上	
胚盤胞培養	7万円以上	
受精卵の凍結処理	5万円以上	(不妊治療の保険適用を実現する会などによる)

1.1.3 診断=選別を通じた介入

○出生前診断:超音波検査、母体血清マーカー検査、絨毛検査、羊水検査、など。

～その目的は①胎児治療、②分娩方法を決めたり出生後のケアの準備のため、③妊娠を継続するか否かに関する情報をカップルに提供する(選別的中絶)

◆母体血清マーカー試験:「母体血清マーカーテストとは、妊娠15週から18週の頃に血液検査を行い、複数のタンパク質やホルモンの値から、胎児の障害(染色体異常の一部や神経管閉鎖不全症の一部)の可能性を推定するものである。この検査はあくまでも可能性の肯定を割り出すものなので、確定診断を希望する場合には羊水検査が必要とされる。しかし、診断の入り口が普通の血液検査となったことは大きな転換である。」(坂井律子『ルポルタージュ出生前診断』NHK出版)

◆羊水検査:「妊娠 13 週以降に、少量の羊水を採取し、その中に含まれる羊水細胞を培養して、染色体分析、酵素活性の分析、DNA診断を行う。」(佐藤孝道『出生前診断:いのちの品質管理への警鐘』有斐閣)

○(受精卵)着床前診断:体外受精でえられた胚を一定期間培養し、その一部を採取し、遺伝子変異や染色体異常の有無を検査した後、正常と認められた胚のみを胎内に戻す。

1.2 新しい生殖技術をめぐって生じる問題群

1.2.1 医学的問題:(とりわけ)女性の身体・精神への影響

◆陣痛促進剤・排卵誘発剤などのホルモン薬投与による害

◆長期にわたる不妊治療が女性の心身にもたらす害

☞ まさのあつこ『日本で不妊治療を受けるということ』岩波書店

1・2・2 社会学的問題:男女関係や家族関係への影響

- ◆〈家族=血縁・単婚・核家族〉モデルの動揺
- ◆結婚／性／妊娠・出産／子育て……の分離可能性
- 「結婚」「家族」「親子」「血縁」といった概念が問い直されねばならない

1・2・3 倫理学的問題:人体の手段化・資源化と生命の質の選別

- ◆人体の臓器・組織が商品化されつつあることをどう考えるか
- ◆先天的障害を持つ胎児の選別的中絶(禁絶的優生学)←妊娠中絶一般をめぐる倫理的問題
- ◆デザイナーズ・ベビーの実現(積極的優生学?)

2 新しい生殖技術と〈家族〉の変容

- ◆ARTは何を〈家族〉という関係に何をもたらすのだろうか。

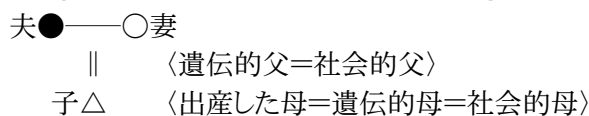
2・1 新しい生殖技術と〈家族〉形成のパターン

[記号]

- || : 血縁(遺伝的)関係
- | : 社会的に認められる親子関係
- ←←← : 配偶子の移動
- : 子供の移動

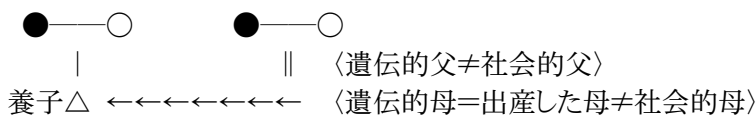
【1】規範的家族 ～胚、妊娠・出産ともに社会的両親自身

パターン①(いわゆる「普通」の核家族。AIH、①'夫婦間の体外受精は、この規範型を求める措置)



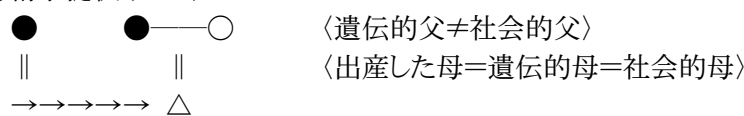
【2】養子 ～胚／妊娠・出産とも他者

パターン②(養子)

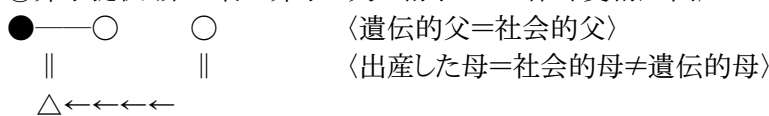


【3】精子提供(AID)・卵子提供 ～配偶子の一方は他者／妊娠・出産は社会的母親自身

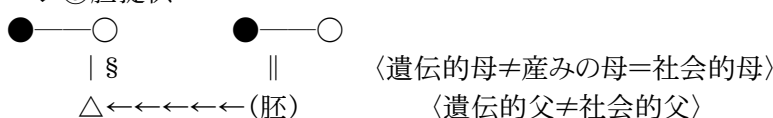
パターン③精子提供(AID)



パターン④卵子提供(第三者の卵子と夫の精子による体外受精)+出産

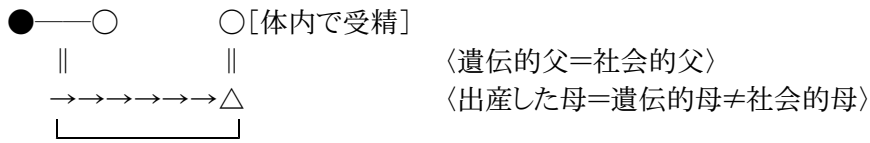


パターン⑤胚提供

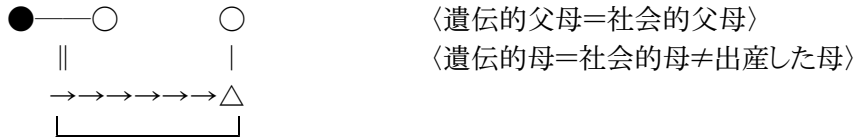


【4】代理母・代理出産 ～卵または配偶子は他者／妊娠・出産は他者

パターン⑥(人工授精を用いた代理出産[代理母]=サロゲート・マザー surrogate mother によるもの)



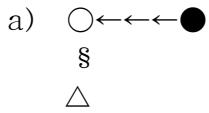
パターン⑦(体外受精を用いた代理出産[借り腹]=ホスト・マザー host mother によるもの)



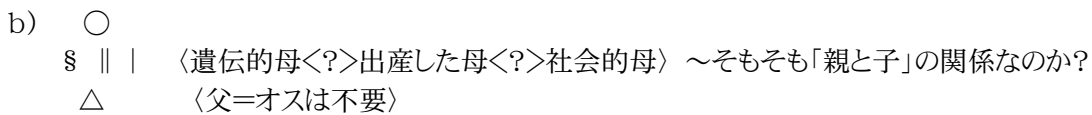
[体外受精] [妊娠・出産]

【5】ヒト・クローニング

パターン⑧(男性の細胞核を女性の卵に移植、女性が妊娠・出産)=男性(父)と遺伝的に(ほぼ)同一の子



パターン⑨



パターン⑩

c) 女性の体性幹細胞(万能細胞)から精子や卵子を造り、それをもとに個体を造る。